

きっと変える!

高崎市議会議員

Vol.22 2015
春号

くみちゃん通信

発行/三島くみこ事務所

TEL.FAX 0274(43)0446

〒370-1301 高崎市新町2255-1

携帯 090(1702)6639

E-mail mishima@jeans.ocn.ne.jp



市民の笑顔が輝く「元気な高崎」をつくります!



鳥川に飛来した白鳥たち(新町・岩倉橋付近)

群 馬県を代表する都市・高崎。県下最大の人口規模を誇り、3つの高速自動車道、2つの新幹線が交わる、まさに交流拠点都市であり、利便性の高い生活空間と豊かな自然環境をあわせもつ、魅力あふれるまちとして、日々成長を続けています。

平 成28年、高崎駅西口には、国際大会にも対応できる新体育館が完成し、さらに平成30年には、高崎駅東口に、本格的な音楽ホールをもつ、高崎文化芸術センターがオープンします。

ま た、関越自動車道の高崎玉村スマートIC周辺には、広大な産業団地が整備され、新たなビジネスシーンが生まれようとしています。



高崎のシンボル・白衣大観音

こ うした積極的な事業展開は、高崎の都市としての力を高めるために、非常に有効だとは思いますが、まちをつくるのは「人」であり、「人」が元気でなければ、都市の発展はあり得ないと、私は思います。

高 崎のこれからの課題は、すべての市民が「高崎に住んで本当によかった!」と思えるような、市民一人ひとりの笑顔が輝く、元気なまちづくり!

こ れからも私は、4期16年の経験フルに生かして、持ち前の行動力・発言力を発揮しながら、「元気な高崎」をつくるために、全力投球で取り組んでまいります。

皆 様のよりいっそうの力強いご支援・ご協力、叱咤激励のほどを、どうかよろしくお願い申し上げます。

高崎市議会議員

三島久美子

●三島くみこタウンミーティング

市民の皆様の声は、三島くみこの宝物です!

●これまでに70回以上開催しています!



三島くみこは、平成23年4月の選挙で、市民の皆様の温かいご支援により、通算4期目の任をいただき、精力的に議員活動を続けてまいりました。しかし、早いもので間もなく、4年間の任期満了を迎えようとしています。これまで私は、市民の皆様の声にしっかり耳を傾けようと、70回以上にも及ぶタウンミーティング(市議会&市政報告会)を開催してまいりました。

●かならず市政に反映させます!

市民の皆様からいただいたご意見やご要望は、議会での発言はもちろんのこと、日常の議員活動を通して、かならず行政に届け、確実に市政に反映させています。皆様の生の声は、私にとって非常に貴重な宝物です。街角で見かけた時も、ぜひ気軽にお声かけいただき、遠慮なく疑問をぶつけてください。皆様の声を、心からお待ちしています!

三島くみこの政治信念

市民の「心の声」を市政に反映させたい!

●大切なことは目に見えない?
子どものころに読んだサン・テグジュペリの小説『星の王子さま』の中に、王子さまが地球で、キツネと出会うシーンがあります。

キツネが王子さまに、そっと教えてくれました。「大切なことは、目に見えないんだよ」「心で見ないと、うまく見えないんだ」と。

このくだりは、幼い私の心に鮮明に焼きつきました。

●「心の目を大切にしたい!」
私は常日頃から、「政治を志す者は、三つの目線を持たなければならぬ」と、自分に言い聞かせています。

一つは、物事の全体を見渡す「鳥の目」。もう一つは、どんな小さなことでも見逃さない「虫の目」。そして、最も大切なのが、「大切なこと」を見極める「心の目」です。

●太陽(真実)は一つしかない!
めまぐるしく変化する時代の流れの中で、市民の「心の声」をしっかりとキャッチし、市政に反映させる——それが、市議会議員の使命だと肝に銘じ、「心の目」をしっかりと見開きながら、「太陽(真実)は一つしかない」と信じて、一歩一歩前に進んでいきたいと思っています。



三島くみこ公式ホームページにアクセスを!

ホームページ <http://www.mishima-kumiko.com>ブログ <http://blog.goo.ne.jp/mishima-kumiko>

三島くみこの一般質問

一般質問とは、定例会において、議員が行政に対して、市政のどのようなことに関しても質問できる、議員の大きな特権の一つです。
三島くみこは、年4回の定例会ごとに、欠かさず一般質問を行っています。



(今任期中の一般質問を掲載しました。)

平成23年 6月定例会

- A** 学校二学期制の課題を検証し、部活への地域人材の活用を！
- Q** 三学期制に戻すことも検討。地域人材の活用を推進します。
- A** 子育て環境を積極的に整備し、イクメンを増やしてほしい！
- Q** 保育所定員を450名増やし、男性の育児参加も促進します。

平成23年 9月定例会

- A** 電話・窓口対応の機能強化で、ワンストップサービスの実現を！
- Q** コールセンターの意義を検討し、市民の満足度向上をめざします。
- A** 男女共同参画センターで、複合施設の特性を生かした事業展開を！
- Q** 仕事と生活との調和を課題に、人々の交流や活性化を図ります。

平成23年 12月定例会

- A** 児童福祉の充実のために、市独自の児童相談所の設置を！
- Q** 独自の設置は今後の課題とし、県の児童相談所と緊密に連携します。
- A** 介護保険の円滑運営を図り、高齢者の移動手段を確保してほしい！
- Q** 利用しやすいよう制度構築し、移動手段のニーズ調査を行います。

平成24年 3月定例会

- A** 災害に強いまちづくりに、しっかりと取り組んでほしい！
- Q** 女性の視点も取り入れた地域防災計画の見直しを図ります。
- A** 男女共同参画センターの存在価値を、広く市民に周知すべき！
- Q** 事業の実施や広報HPの活用で、積極的にアピールします。

平成24年 6月定例会

- A** 地域包括支援センターを、市民に身近な相談窓口にするべき！
- Q** 市民への認知度を高めるために、運営方法などを検討します。
- A** 情報バックアップ機能の誘致に、迅速に取り組んでほしい！
- Q** 高崎の都市としての強みなどを、強力に宣伝していきます。

平成24年 9月定例会

- A** 大人の発達障害に対する支援体制を整備してほしい！
- Q** 生活支援や就労支援のためのネットワークを構築します。
- A** 男女共同参画は、男性にも重要であることを広く啓発すべき！
- Q** 男性も参加しやすい講演会やセミナーなどを開催します。

平成25年 3月定例会

- A** 高崎の水辺空間を生かした、まちづくりをしてほしい！
- Q** 水と緑のネットワークを形成し、「川の駅」構想も研究します。
- A** 障害のある人に対して、切れ目のないサービスを提供すべき！
- Q** 地域福祉計画の策定の過程で、障害者の地域包括ケア体制も研究します。

平成25年 6月定例会

- A** 「お役所仕事よ、さようならー！」ワンストップサービスの実現を！
- Q** コールセンターの導入や、総合窓口化の推進に取り組みます。
- A** エピペン注射の打ち方実習を行い、個別対応マニュアルを改善します。
- Q** 学校給食での食物アレルギー対策を強化してほしい！

平成25年 9月定例会

- A** 子育て支援をさらに強化して、保育所の実質的な待機児童をゼロに！
- Q** 途中入所枠を拡大するために、事前の保育士確保を支援します。
- A** ニートの実態を把握して、サポート体制を強化してほしい！
- Q** 約1900人がニート状態にあり、サポート養成事業に取り組めます。

平成24年 12月定例会

- A** いじめ根絶に社会全体で取り組む、いじめ防止条例の制定を！
- Q** 盛り込む内容など、多くの課題があり、慎重に検討していきます。
- A** 新町地域の南北分断感の解消を図り、新町駅周辺に都市機能の集積を！
- Q** JR等の関係機関と協議します。

平成25年 12月定例会

- A** 深刻な児童虐待防止に向けて、児童相談所との連携を強めてほしい！
- Q** こどもを守る地域ネットワークを組織して、支援体制を整備します。
- A** DV(配偶者などからの暴力)防止のために相談支援センターの設置を！
- Q** 関係機関との連携を図りながら、センターの設置を検討します。

平成26年 3月定例会

- A** 子どもの体力向上のために、「するみる」スポーツの推進を！
- Q** 市民参加型スポーツを振興し、新体育館に全国大会を誘致します。
- A** 女性の活躍推進のために、女性リーダーを育成してほしい！
- Q** 地域社会・事業所・市役所等で、積極的な女性人材の育成に努めます。

平成26年 6月定例会

- A** 古紙・古着・小型家電等の回収促進で、循環型・み減量化を！
- Q** 集団回収の空白地解消に努め、回収回数を増やすことも検討します。
- A** 人口減少社会において、少子化対策の一層の強化を図ってほしい！
- Q** 男性の働き方の見直しや育児参加を、企業にも働きかけます。

平成26年 9月定例会

- A** DV(配偶者などからの暴力)およびストーカー被害者の保護を！
- Q** 住民票の閲覧制限等で情報漏れを防ぎ、保護支援体制を整備します。
- A** 教頭2人制や事務処理対応職員の配置で、教員の多忙感の解消を！
- Q** 教頭の複数配置等を県教委に強く要望し、事務人材活用も研究します。

平成26年 12月定例会

- A** 町内会単位等での地区防災計画の策定をサポートしてほしい！
- Q** 地域の特性を踏まえながら、計画策定を順次進めていきます。
- A** 障害のある人の日常を支える「ヘルプカード」の導入を！
- Q** 障害者団体の意見を聞きながら支援のあり方を検討します。

平成27年 3月定例会

- A** 動物と共生できる社会づくりで、殺処分ゼロをめざしてほしい！
- Q** 無秩序な繁殖を抑える施策等で、遺棄と苦情の軽減に努めます。
- A** 「こころの病」の現状を把握して支援体制を強化してほしい！
- Q** こころの健康相談窓口を常設ゲートキーパー養成に努めます。



高崎市役所

常任委員会・特別委員会でも積極的に発言しています！

議員の重要な職務の一つに、毎月開催される常任委員会や、特別委員会の委員としての活動があります。

三島くみこは、常任委員会・特別委員会においても、積極的な発言を繰り返し、行政に対して、さまざまな政策提言を行っています。

平成27年4月26日(日)
高崎市議会議員選挙が行われます。

今回の選挙から、議員定数が削減され、現状の41人から3減の38人になります。一方で選挙区は広がり、吉井地域も含めた「高崎全域」となります。

定数を大幅に上回る、非常に厳しい選挙戦が予想されますので、よりいっそうのご支援・ご協力を、よろしくお願いいたします。

三島くみこ
24時間安心ホットライン
いつでもお気軽にお電話ください！
090-1702-6639
TEL&FAX 0274-43-0446
※切り取ってお持ちください。